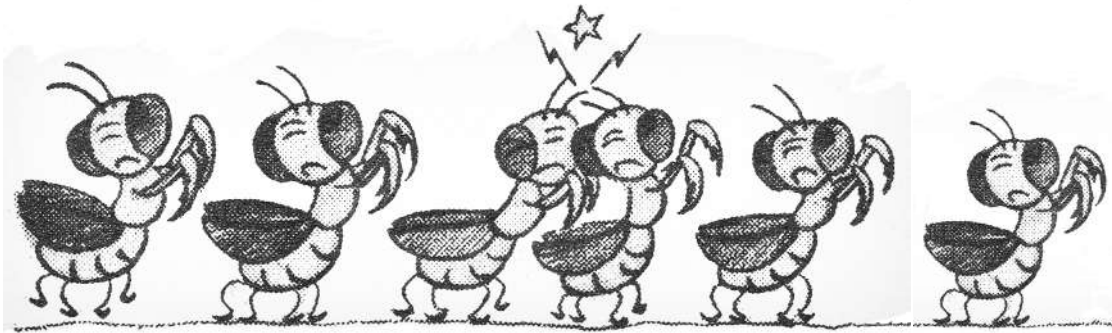


楽しいニュース

ニュースレター
No. 00
2017/11



のぼ スカイツリーに上ったよ！

9月30日、スカイツリーに行ってきました。楽し荘の利用者5人、スタッフ4人です。行楽日和の一日♪。過去数回のホーム外出の経験から、移動も「安全」を合い言葉にお互いを気遣う余裕を持っています。

まずは、最大のお楽しみ「ランチビュッフェ」を満喫。目の前にそびえるスカイツリーを眺めながら、マナー良く食事を楽しみました。

浅草寺の賑わいも物ともせず、はぐれることも寄り道もなく次の目的地にまっしぐら！！

スカイツリー展望回路は、下界(?)のロケーションを楽しむ余裕無く、壁際をソロリソロリと歩く高所恐怖症者が続出(-_-) 記念写真は、上から撮影のカメラに向かって見上げているので全員笑顔(^_^)~

地上に下りたら「また来よーね♪」「また来ようね(^_^)」

そうね!この次は、6人(利用者さん)皆で来ようね(^^ゞ!!!

(諏訪部)



利用者とスタッフの皆さんの声

楽し荘ができたのは2015年の7月1日です。3年目に入り4ヶ月を経過したところで、利用者である入居者とスタッフの皆さんからの声をいただきましたので紹介させていただきます。

なかなかニュースを出せず、すみません。これからは隔月刊を目指しますので、ご協力を！（理事長）

利用者（入居者）の皆さん

A.Iさん

クリスマス会、誕生会、花火大会に余暇活動と多くの行事があり、楽しめていると思います。毎日の通所施設との連絡ノートもとてもありがたいです。本当に風通しの良いホームだと思っています。これからもよろしくをお願いします。（親御さん）

Y.Sさん

楽し荘に入って2年たちました。

家では兄弟で2段ベット、自分一人の部屋が出来たことが嬉しいです。

お出かけやパーティ、花火大会、お誕生会、カラオケ、梨狩りとたくさんのイベントをしてくれるので楽しいです。これからもお世話になります。

S.Sさん

たのしそうはいいです。しょくじはおいしいです。へやもきれい。カラオケ大会やおでかけなどいろいろかんがえてくれてたのしんでいます。ずっとすみたいです。



2016年9月梨狩り

R.Yさん

2周年記念銀座アスター、グループホームのみんなで食事とビンゴをしました。6月カラオケ楽しかった。選択と日曜日休みます。月曜日から行きます伝えました。

グループホームに入ってから自分で考え自分の意志を伝えるという苦手なことを、試行錯誤しながらやってるので、ドタキャンをしたりとホームの職員さんに迷惑をおかけしていますが、成長の一過程として見守って下さってます。長く居られる為にも今、もう少しがんばり所だと思います。よろしくをお願いします。（親御さん）

D.Nさん

いろいろたのしい事はあるけれどいちばんたのしかったのは梨がりでした。他のグループと一緒にいていろんな人と交流できたからです。これからは足をどンドンしない、大きな声をださないで、いつも笑顔で過ごすようにしたいです。ホームでみんなと仲よくすごしたいです。

T.Kさん

カラオケでうたったことが楽しかった。
S兄弟とぼくのひげをさわってあそんでたりしてたのしい。

スタッフの皆さん

雨宮さん

「楽し荘」での勤務を開始して約2年が過ぎました。知的障害者グループホームでのお仕事は初めてで、最初は不安で一杯でしたが利用者さんに受け入れていただき（自分勝手にそう思っていますが）、今日まで大過なく勤務できましたことに感謝しています。今後も利用者さん個々がお持ちの『良き個性』を引き出していけるような支援を心がけていきたいと思えます。

諏訪部さん

ホームとの関わりは、立ち上げ準備から数えれば3年半。過呼吸発作で救急搬送されながらお手伝いしてきた、開所までの日々が懐かしく思い出されます。

スケルトン状態のガランとした空間から、今のホームの内装が完成するまでを日々目の当たりにし、ある程度(?)の意見を取り入れてもらえた事は大きな喜びでした。今までの未熟な支援の経験を形に出来る、真の意味での第一歩でした。

白い壁に白いドアか、木目の壁に木目のドアかの設計者からの二者択一に、白い壁に各部屋違う色のドアを提案したこと。木目の階段に木目の滑り止めのサンプルに対し、外階段用の黄色い滑り止めを提案したこと。e t c…

その都度、設計者と話し合いながらも、目茶苦茶と思われる様な発想を、構造上可能なことは施主の（衣を借り）ゴリ押しで押し通してきました。

違和感を与えず、求める物がどこにあるか、自身で見極められること。危険を危険と目で見て判断できること。これらが、このホームを作り上げる手伝いをする時私の根底にあった想いです。利用者さん、一人一人が違う色を持ちながらも、全体の生活の調和を保てるような支援をしていきたいとの願いでもありました。

「グループホームらしくない」という言葉。それこそが、私の描いたグループホームの設計図でした。様々な立場の方からその言葉が飛び交った完成の内覧会の日を、これからの残り少ない生涯忘れることはないでしょう。

私の思うままに（ひやひや、ハラハラされながらも）任せてくださった、理事長に感謝です。この器の中で、この器に込めた思いを支援の中に継続して映し出して行くこと、それが今の目標であり願いです。

思いは、限りなく沸いてきます。続きは、又の機会（があったら）に…。

佐藤さん

知的障害に関して何の知識もないスタートでした。世話人の助言、指導を受けながら2年が過ぎたと言う感じです。これからも、利用者さんの可能性、成長を見守っていけたらと思っています。

2016年10月
共生共走リレーマ
ラソンに参加



久保田さん

「今年一月から参加しています。利用者の皆さんが、楽し荘に来て良かったと思えるよう、日々の生活の支援をさせていただきたいと思っています。よろしく願いいたします。」

青木さん

開所数ヶ月後、他のスタッフよりも少し遅れて入職しました。利用者みなさんがすぐに名前を覚えてくれて嬉しかったです。日中働いている施設（重度障害者通所施設）とは全く違う支援を求められ、まだまだ勉強中の身の私ですが、利用者みなさんといっしょに成長していきたいと思っています。

今後ともよろしく願いいたします。

茅根さん

グループホーム「楽し荘」が開所して2年になりました。6人の仲間とスタッフでてんやわんやしながら、家族から離れてのホームでの生活が過ぎました。3年目に入りましたが、皆さんの笑顔が見られるのが、一番うれしいことです。そしてこれから、地域の方とも触れ合いながら、しっかり地に足をつけて進んでいきましょう。

小宅さん

出勤回数は少ないですが、楽し荘に来てもう少しで2年になります。

カナダでも福祉の仕事をした経験があり、時々日本とカナダの違いを仕事中に垣間見ることがあります。こうしたらいいのになあと思う時が時々ありますが、どちらが正しいとは言えませんし、国柄を考えると僕の考え（経験した事）はたぶん日本のシステムには当てはまらないと思います。

あまりこの2国の違いにとらわれずに、楽し荘3年目に柔軟に対応していき、これからも利用者さんたちの支援をしていきたいです。

こんご についで 今後の日程です

11月12日(日) 8時45分 町内美化運動

11月18日(土) 12時 スタッフ会議
14時 人権プロジェクト

11月23日(木) 13時 ホーム大掃除

12月16日(土) 13時 保護者会
12月24日(日) ホームクリスマス会

楽し荘 ニューズレター 00号

2017年11月8日発行

NPO 法人 フットルース

理事長 志子田悦郎（社会福祉士）

〒146-0093 東京都大田区矢口1-5-4 金親ビル3F

TEL 03-6716-2640 FAX 03-6715-5400